

病院概要

開設者名	新潟県基幹病院事業 新潟県知事		
標榜診療科目	総合診療科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、 腎臓内科、リウマチ・膠原病科、呼吸器・感染症内科、 消化器内科、脳神経内科、精神科、小児科、消化器外科・ 一般外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、 整形外科、形成外科（※）、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線治療科、放射線診断科、 麻酔科、救急科、リハビリテーション科、矯正歯科、 歯科口腔外科、病理診断科 ※現在診療を行っておりません		
主な診療・実績 (R6年度)		使用許可病床数 (稼働病床数)	一日平均 入院患者数
	一 般	400 床 (351 床)	294.1 人
	精 神	50 床 (50 床)	41.1 人
	感染症	4 床 (4 床)	2.0 人
	●一日平均外来患者数 822.9 人 ●年間手術件数 10,473 件 ●年間出産件数 467 件 ●医師数 常勤 101 人 非常勤 7.4 人		
医療機関の指定等	DPC標準病院群、厚生労働省臨床研修指定病院(基幹型+協力型)、第二種感染症指定医療機関・結核指定医療機関、新潟県難病医療基幹協力病院、地域災害拠点病院、新潟DMAT指定医療機関、肝炎患診療協力病院(新潟大学医学総合病院)、肝炎治療特別促進事業の医療給付に係る指定医療機関、地域救命救急センター、地域周産期母子医療センター、精神科救急医療施設、救急告示病院(三次救急)、医療観察法に基づく指定通院医療機関、エイズ治療拠点病院、一次脳卒中センター、重症薬疹診療拠点病院 地域がん診療連携拠点病院 臨床検査室の認定(ISO15189)、厚生労働省特定行為研修指定研修機関、紹介受診重点医療機関、病院機能評価認定		

稼働病床数				
科目	項目	症例数(年度)		
		R4年	R5年	R6年
概要	外来総患者数	202,350	204,548	199,970
	Ⅰ 日平均患者数	832.7	841.8	822.9
	入院延患者数	106,149	114,221	123,082
	全科 手術総数	9,933	10,005	10,473
	うち手術室	3,991	4,199	4,442
救急医療	救急件数	8,139	8,814	8,881
	救急車受入患者数	2,818	3,024	3,534
	三次救急相当の受入患者数	560	560	696
	ドクターヘリ受入件数 (他病院からの紹介)	80	55	45
産婦人科・ 周産期医療	分娩件数	527	467	396
	帝王切開術	121	104	93
	NICU・GCU利用実人数	115	104	104
	新生児搬送の受入件数	8	4	1
	悪性腫瘍の手術件数	438	524	524
がん医療	がんに係る化学療法への患者数	2,118	3,322	3,417
	放射線治療への患者数	222	263	283

アクセス



 電車でのアクセス

上越新幹線 浦佐駅を利用した場合

東京駅 ⇄ 浦佐駅	約1時間30分
新潟駅 ⇄ 浦佐駅	約40分
※浦佐駅から徒歩	約20分
タクシー	約5分

 車でのアクセス

関越自動車道 大和スマートICを
利用した場合
練馬IC ⇄ 大和スマートIC 約2時間10分

新潟西IC ⇄ 大和スマートIC 約1時間20分
※大和スマートICから車で約5分



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

一般財団法人 新潟県地域医療推進機構 魚沼基幹病院
事務部総務課臨床研修担当

〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132 Tel 025-777-3200(代) Fax 025-777-5067

魚沼基幹病院 検索 uonuma-kan-hospital.jp/

facebook.com/UonumaKikanHosp

✕ x.com/UonumaKikanHosp

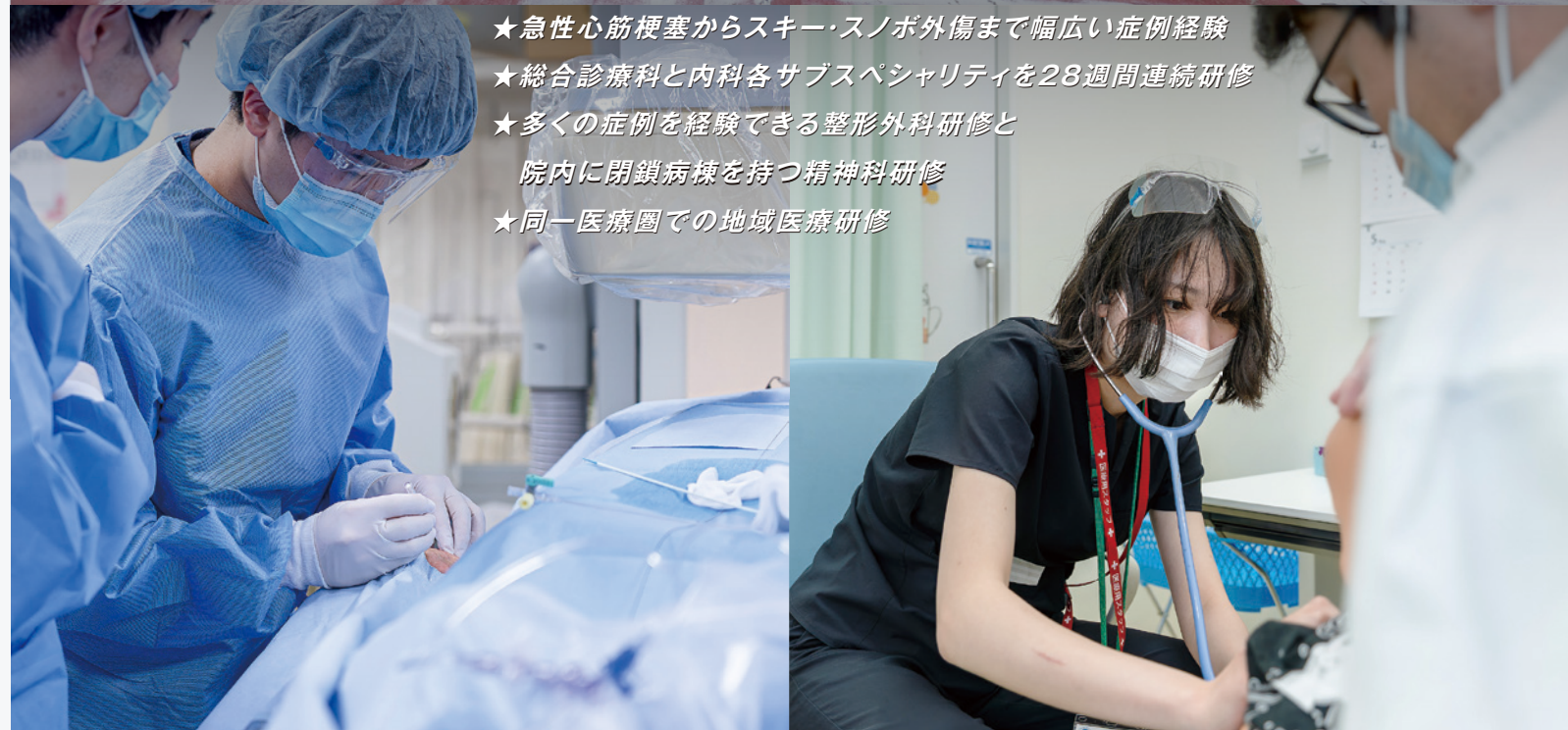


臨床研修**医**募集案内



2015年医療再編により新設。
魚沼圏域の基幹病院として、
三次救急、高度医療を担います。

病院見学随時受付中



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

2026 魚沼基幹病院臨床研修プログラム

研修目標

将来の専門領域にかかわらず、
医師として必要な基本的知識・技術・態度を
身につけることを目的とする。

プログラムの特色

魚沼は新潟県で最も医師が少ない地域のため、“かかりつけ医”のない人がたくさんいます。そのため、多くの患者さんがかかりつけ医を経ないで直接救急外来を受診します。救急症例は、脳出血・脳梗塞、急性心筋梗塞、大腿骨頸部骨折、雪下ろし外傷、スキー・スノボ外傷、交通事故など多岐にわたります。こうした症例に対応するため、救急系、外科系、内科系の3名の当直医、産婦人科医、小児科医に加え、全診療科の医師が30分以内に来院できるような体制をとっています。

当院の臨床研修では、このような診療体制に支えられ、どのような疾患でも最善の救急診療を研修することができます。もちろん、当院だけでは対応できない症例もあります。しかし、そのような症例を経験することは、将来専門医になったとき「どこまでできるか、どの時点で紹介すればよいか」を判断するときに役に立つに違いありません。

当院に入院する症例で、疾患を一つしか持たない人はほとんどいません。高齢者になればなるほど、多くの合併症を持っています。また、二つ以上の疾患を並行して治療しなければならないケースもたくさんあります。そのような症例を対象とする診療科として、総合診療科が設けられています。多くの病院では「どの科にかかればいいかわからない」「異常がないといわれたが症状が治まらない」などの症例が、総合診療科外来を受診します。しかし、当院では一歩進んで、複数の問題（‘疾患’とは限りません）を持つ入院症例を対象として診療を行います。くわえて、症例の多い整形外科を必修とし、院内で精神科研修ができ、同一医療圏での地域医療研修を行うなど、多くの特色を持っています。

01 推奨ローテーション



1年目

4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
総合診療(4週)	消化器(4週)	循環器(4週)	呼吸器(4週)	腎臓原病(4週)	内分泌・代謝(4週)	脳神経(4週)		外科(8週)	小児科(4週)	産婦人科(4週)	精神科(4週)	整形外科(4週)

1) 1年目内科28週

総合診療(総合内科)4週+内科24週(消化器・循環器・呼吸器・腎臓原病・内分泌代謝・脳神経各4週)

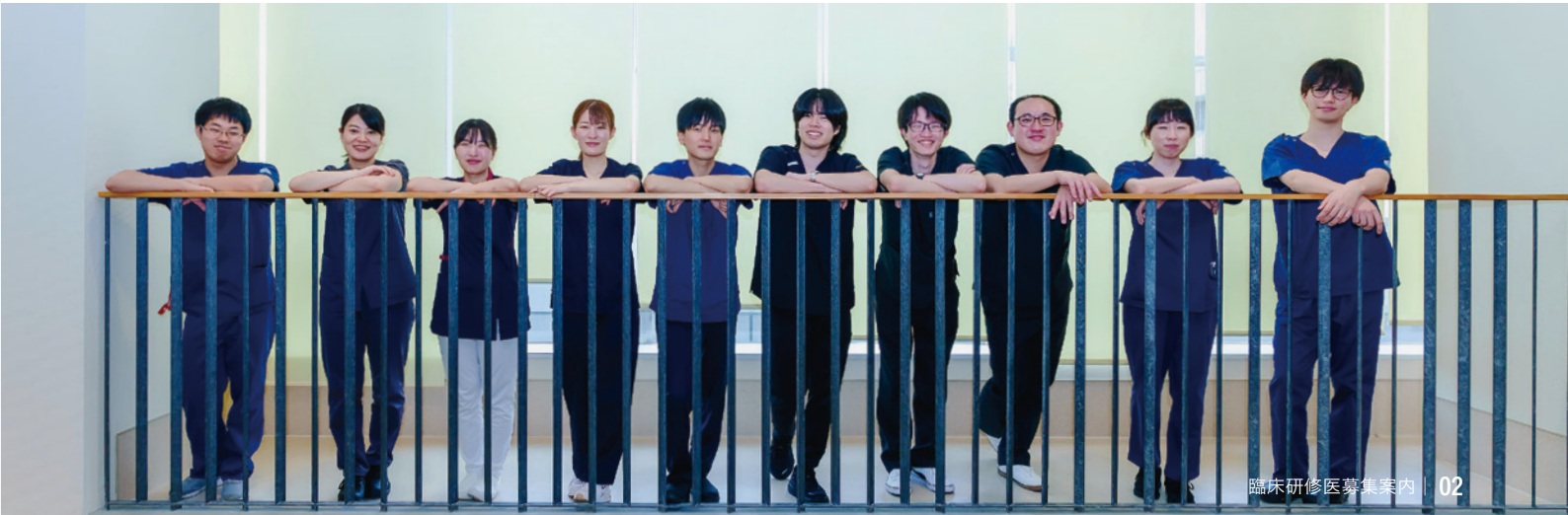
2) 選択32週

研修医の希望に応じて、32週を選択期間を設けます。内科系、外科系、病理診断科などのサブスペシャリティ科を選択し研修します。

2年目

4週	8週	12週	16週	20週	24週	28週	32週	36週	40週	44週	48週	52週
総合診療(4週)	麻酔科(4週)	救急(4週)	地域医療(8週)						選択(32週)			

多くの疾患や患者を経験したい場合は、複数の内科サブスペシャリティを組み合わせることも可能です。例えば、内分泌・代謝内科と脳神経内科などを同時に研修することもできます。



02 各科の研修内容

内科

1年目に、28週間連続して内科研修を行います。このうち、4週間は総合診療科に所属します。同科研修中は、多くの合併症を持つ症例、および複数の疾患を併せ持ちどちらも治療しなければならない症例などを受け持ちます。また、2年目にも4週間総合診療科を研修します。複数臓器に疾患を持つ症例を対象に、1年目より細かい点まで踏み込んだ内科研修を行います。また、1年目には、総合診療科と連続して消化器内科、循環器内科、呼吸器感染症内科、腎膠原病科、内分泌・代謝内科、および脳神経内科をそれぞれ4週ずつ、合計24週間研修します。これらのサブスペシャリティ研修では、各診療科に特有な高度の専門的知識・技術を必要とする診療を研修します。例えば、消化器内科、呼吸器感染症内科であれば悪性腫瘍診断・治療や各種内視鏡手技、循環器内科ではインターベンションを含む急性冠疾患対応、腎膠原病内科では血液透析や膠原病疾患に対する免疫抑制療法、内分泌・代謝内科では強化インスリン療法や内分泌学的負荷試験、脳神経内科では変性疾患診断・治療などが代表的な研修項目です。

ほとんどの場合、1年目の4週間の研修では不十分です。特に内科系志望の場合、2年目の選択研修で各サブスペシャリティ独特の検査や手技を深く学ぶことをおすすめします。また、血液内科については、新潟大学医歯学総合病院や県立がんセンターで専門的な研修が可能です。さらに、より専門的な循環器内科インターベンションを学ぶには、立川総合病院で集中的な研修をすることもできます。

外科

外科研修では、小手術手技の習得、実際の手術への参加、周術期管理の理解を目的としています。実際に患者を担当し、専門医の指導のもとチームで診療にあたります。上部消化管、下部消化管、肝胆膵および乳腺領域の良悪性疾患を対象とし、幅広く症例を経験できます。病棟・手術室での研修が主ですが、平日1コマ/週の外来研修を行うことで、術前・術後患者の外来マネジメントについても習得が可能です。

小児科

当院は魚沼圏域唯一の小児入院施設であり、軽症者から重症患者・専門性を要する患者まで幅広く診療にあたっています。4週間の小児科研修では、小児の診察の仕方と基本手技、コモンディジーズの診療の習得を目標とします。

研修期間中に、平日午前(1コマ/週)一般小児科外来研修を含みます。さらに希望があれば、コモンディジーズ以外の疾患を対象とした専門的な研修も可能です。

産婦人科

当院は地域周産期母子医療センターの機能を有し、早産・妊娠高血圧症候群・多胎などのハイリスク症例の分娩も取り扱っています。子宮頸癌・子宮体癌・卵巣癌などの婦人科悪性腫瘍に対しては、外科・泌尿器科・放射線治療科と連携した集学的治療を行っています。また、3D内視鏡システムを用いて、腹腔鏡下子宮体癌手術・骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術を含む腹腔鏡下手術も行っています。以上のように産婦人科専門領域の幅広い研修が可能です。

精神科

当院には、精神科閉鎖病棟があります。そのため、一般的な精神疾患に加え、新潟県全体から集まってくる身体疾患を合併した精神疾患患者への対応を学ぶことができます。

整形外科

当院が立地する魚沼圏域は、スノーリゾートが多数営業しています。

そのため、ウィンタースポーツ外傷の救急搬送件数が多くあります。また、農業従事者が多く、公共交通機関が運行しない地域も目立つことから、農作業中の事故や転倒・転落、自家用車等による交通事故外傷も多数受診します。さらに、超高齢社会を反映した変形性関節症や大腿骨・脊椎骨折など幅広い症例を経験できるため、必修としました。

救急科

救急研修は、12週のうち4週を救急科、4週を麻酔科、残りの4週を日当直による他科との並行研修とします。当院の救急科では、救急外来(ER)で救急症例の対応と、ACU(Acute Care Unit)で重症入院患者の集中治療を行っています。救急科研修では、医師として身に付けておかねばならない、重症患者の対応を数多く経験することができます。他科の医師と協力して、幅広く重症患者をみるのが可能になります。

循環器

急性期および待機的心臓カテーテル検査・治療、およびペースメーカー植込み術などを研修し、また、うっ血性心不全についても、地域医療機関と連携しながら主に急性期診

療に関する研修を行います。希望があれば、連携する立川総合病院の循環器内科、心臓血管外科および心血管放射線科での研修も可能です。

選択

研修医の希望に応じて、32週の選択期間を設けます。内科系、外科系、病理診断科などのサブスペシャリティ科を選択し研修します。また、多くの疾患や患者を経験したい場合は、複数のサブスペシャリティを組み合わせることも可能です。例えば、内分泌・代謝内科と脳神経内科を同時に研修することもできます。

地域医療

当院は、「地域全体でひとつの病院」のコンセプトのもと、市立小出病院や南魚沼市民病院などと役割分担をすることで地域完結型医療を目指しています。当院での地域医療研修は、市立小出病院、南魚沼市民病院、小千谷総合病院で実施します。これらの医療機関はいずれも当院から自動車で30分以内に位置していて、地域完結型医療の一端を担っている病院です。こうした病院で地域医療研修を行うことにより、「地域全体でひとつの病院」で多面的に実施されている医療を体験することができます。

一般外来

一般外来研修は当院内科研修中(総合診療科外来4コマ<2日相当×2年>)、外科研修中(一般外科外来研修8コマ=4日相当)、小児科研修中(一般小児科外来研修4コマ=2日相当)、および地域医療施設(一般外来、午前午後外来2コマ×2/週を8週=16日相当など)で実施します。これらを合わせて、40コマ=20日=4週相当以上の一般外来研修を行います。

当直

原則として、1ヶ月に平日当直2回と土日日直2回を担当します。



03 研修分野及び期間

研修/プログラムの詳細は Web サイトで。
<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/page1.html>



基幹型臨床研修病院

必修科目	内科28週+4週、救急12週、外科8週、小児科、産婦人科、精神科各4週 合計64週
病院で定めた必修科目	整形外科4週
選択科目	救急、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、整形外科、総合診療内科、循環器内科、内分泌・代謝内科、腎膠原病科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、脳神経内科、消化器外科・乳腺外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線治療科、呼吸器外科、皮膚科、眼科、リハビリテーション科、病理診断科 合計32週

協力型臨床研修病院・協力施設における研修分野及び期間

協力型病院の研修科目は、原則として研修医の希望に基づき、研修先の協力型病院との話し合いの上で決定し、研修開始後は研修医と協力型病院により調整します。それぞれの研修科目の研修期間についても、同様

に調整します。協力施設における地域医療研修については、研修開始後に決定します。各協力施設から期間別研修医受け入れ可能人数が研修医に提示され、研修医の希望と調整の上

で研修を行う協力施設を決定します。協力型相当大学病院、協力型病院・協力施設における指導医は別紙のとおりです。

新潟大学医歯学総合病院 (協力型相当大学病院)

選択：救急、小児科、産婦人科、精神科、麻酔科、整形外科、循環器内科、内分泌・代謝内科、血液内科、腎・膠原病内科、呼吸器・感染症内科、消化器内科、脳神経内科、腫瘍内科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、放射線治療科、放射線診断科、呼吸器外科、皮膚科、形成・美容外科、小児外科、眼科、心臓血管外科、リハビリテーション科、病理部
合計4～28週

新潟県立十日町病院(協力型病院)

選択：救急、小児科、整形外科、内科、外科
合計4～28週

新潟県央基幹病院(協力型病院)

選択：内科(総合診療科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、脳神経内科、循環器内科)外科、救急、循環器内科、脳神経内科、整形外科、放射線科 合計4～28週

立川総合病院(協力型病院)

選択：循環器内科、心臓血管外科、心臓血管放射線科 合計4～12週

新潟県立がんセンター新潟病院 (協力型病院)

選択：血液内科、形成外科、放射線科、緩和ケア内科 合計4～28週

魚沼市立小出病院(協力施設)

必修：地域医療 4～8週

南魚沼市民病院(協力施設)

必修：地域医療 4～8週

小千谷総合病院(協力施設)

必修：地域医療 4～8週

新潟県庁(協力施設)

選択：保健・医療行政研修 合計4～8週

04 指導体制

1 | プログラム統括責任者

プログラム統括責任者は研修医から提出される経験録、実習記録から不足の経験などを補うよう、研修医および指導医に助言します。

2 | 指導医

各分野の認定医・専門医・指導医（臨床研修指導医講習会受講済みかつ臨床経験7年以上）の中から、各教育責任者が推薦し、研修管理委員会が認定した指導医によって4～8週にわたり指導を受けます。

3 | 日当直指導医

内科系、外科系、救急科、必要に応じて小児科、産婦人科の上級医の日当直医の指導を受けます。

4 | 入院患者指導医

入院患者の研修では、研修医は担当医となり主治医（指導医）と一緒に診療します。研修医は、受け持ち入院患者の退院後2週間以内に入院総括を記載し指導医のチェックを受けます。

5 | 評価表の入力

研修医と指導医は、各終了時にそれぞれがオンライン卒後臨床研修評価システム（EPOC2）による評価を行い、評価表に入力します。研修管理委員会は速やかに評価します。

6 | レポート、経験録の提出

研修における進捗状況の記録については、EPOC2を用いて行います。研修医は研修開始後6ヶ月毎にそれまでの経験患者を入院総括と経験録に記載して、研修管理委員会に提出し中間評価を受けます。研修医は2年間の研修終了2ヶ月前までに入院総括と経験録を研修管理委員会に提出し、最終評価を受けます。

7 | 報告書の確認

研修医は自らオーダーしたレントゲン画像や病理組織については、放射線科医や病理医の結果報告書を指導医とともに確認しチェックしなければなりません。

8 | 総合評価

臨床研修管理委員会評価委員会は研修終了2ヶ月前までに提出された入院総括、経験録、評価表の評価、検討会での患者呈示、学会・研究会への発表などを勘案して総合評価を行います。プログラム上の評価基準を満たし、入院総括の未記載と画像および病理報告書の未確認がないと認められた研修医に研修修了の判定を行います。

05 指導医



医療情報部長兼診療情報管理室長
（脳神経内科）

寺島 健史

大自然の豊かな親しみやすい環境で 質の高い最先端の診療を経験してください

当院は、新潟大学医学歯学総合病院の地域医療教育センターとして2015年に開院して以来、大学病院とほぼ同等の診療を大学よりもこぢんまりとした親しみやすい環境で経験することができるのが当院の最大の特徴です。他診療科への相談も大学ほど垣根が高くなく、医局内でいつでも気軽に相談できますし、緊急の薬剤のオーダーや各種検査にもそれぞれの部署が全面的に協力してくれます。教育センターとして当然ながら大学病院との連携も充実しており、大学から治療に対する助言を受けたり、必要に応じて患者の転院もスムーズに行うことができます。また、私たちの担当する脳疾患患者の病理解剖は新潟大学脳研究所病理学分野の教官が当院に出張して、当院のスタッフと合同で全身解剖を行います。こういった経験は他の病院ではできないです。一方で、病棟の廊下からは越後三山がくっきりと見渡せ、忙しい診療の合間にほっと息をつくこともできますし、オフタイムにはすぐ近くで大自然豊かな環境を満喫することができます。優れた臨床医になるためには、診療のスキルや知識を充実させることはもちろんですが、他診療科、他職種・患者とのコミュニケーション、オン・オフを上手に切り替えることもとても大切です。こういった環境をそなえた当院で医師としてのスタートをはじめてみませんか。精一杯サポートします。



リハビリテーション科 部長
（兼総合診療科）

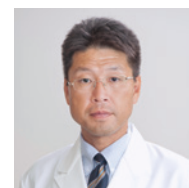
大西 康史

充実した初期研修こそ、 理想の医師に向かう基礎となります

初期臨床研修の2年間の在り方が、その後の長い医師のキャリアの多くを決めると言っても、過言ではありません。当院は初期臨床研修において、総合的な臨床能力の醸成を重視しています。将来的に選択する診療科を問わず、基礎となるマネジメントは共通しているからです。

2年の充実した初期研修を終えた時、次につながる大きな一歩を得た自分を感じることができるはずです。また当院は、研修医の皆さんのロールモデルとなる、地域医療を支える誇りを持った医師が多く勤務しています。そういった上級医との出会いは、研修医の皆さんの豊かな感性に響き、学びの意欲を高めてくれることでしょう。

研修医の皆さんと一緒に学び、そして成長できるよう、我々指導医も頑張っています。多くの若手の皆さんに我々の仲間になって頂き、共に働くことを期待しています。

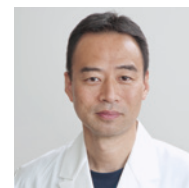


消化器外科・一般外科 部長

角南 栄二

さまざまな疾患と豊富な手術を 経験することができます

当院の研修プログラムは、当科の研修ひとつをとっても食道外科から肝胆膵外科、腹腔鏡手術、乳腺に至るまでさまざまな疾患を経験できます。外科手術に参加することは、人体のなかを実際にみられるということです。これは総合診療を行う上でも必ず役に立ちます。ぜひ外科研修の経験を活かし、他の研修医には身につけられない知識と能力を得ていただきたいと思います。外科の研修期間は8週間。年間手術件数は350以上ありますから、大きな手術を目の当たりにすることができます。食道外科から肝胆膵切除まで豊富な経験ができますし、ヘルニアや虫垂炎の開腹手術などは研修医の手で行っていただきます。これこそ外科での研修のメリットといえるでしょう。魚沼基幹病院は各診療科同士の意思疎通が図れているので、技術だけでなく他科とのコミュニケーション能力も磨かれます。この病院で人生を変えるような出会いが、あなたを待っているかもしれません。



地域救命救急センター長

山口 征吾

他科との連携が多い救命救急センター、 たくさんの症例を経験してください

当院の救急車搬送台数は年間3千数百台で、医療圏は約15万人です。救命救急センターとしては、こぢんまりとしていますが、多彩な症例が搬送されてきます。当院の救命救急センターの役割は、救急車の対応と重症患者の集中治療管理です。脳卒中や急性心筋梗塞、多発外傷や敗血症など、たくさんの疾患があります。季節によって、その疾患も異なってきます。例えば冬季間にはスキー、スノーボード外傷や、屋根の雪下ろし転落外傷など他の地域ではあまりみられない外傷が多くあります。また、一つの科では完結しない症例が多く、他科との連携や他職種との連携が必要です。そういった連携のやり方を実際に見てもらい、研修医自らのコミュニケーション能力を向上させることができるのは、当院の魅力と考えます。他科との垣根も低い病院ですので、働きやすいと思います。当院の救命救急センターで、この症例は重症なのか、軽症なのか。今後は安定していくのか、まだまだ不安定な状況が続くのか。どのタイミングで各専門診療科に引き継ぐのがベストなのか。的確な判断ができるようにたくさんの症例を経験してってください。



06 研修医の1日 ～朝から当直まで～

1 | 救急カンファレンス

毎朝救急カンファレンスが行われます。前日に救急外来を受診し入院した患者さんの病状や治療方針について、救急科、総合診療科の医師が集まって情報を共有します。超急性期を経た後に必要と考えられるチーム医療についても、ここで意見が交わされます。



2 | 外来診療

外来診療研修では、総合診療科（総合内科）や小児科、外科において、指導医の下で実際の診療を経験し、入院診療との違いを理解しながら研修を行います。



3 | 病棟回診

各ローテーションごとに、内科サブスペシャリティや各診療科の病棟回診に参加します。回診をすることで、電子カルテだけではわからない患者さんの表情や、生の声を捕まえることができます。特に、寝たきり患者や人工呼吸管理患者の治療方針を決めるのに病棟回診はかせません。



4 | 手術

外科系診療科の研修では、研修医も診療チームの一員として手術に臨みます。研修期間における実績に応じて、基本的な処置から順次、手術手技に関する具体的な経験を積むことができます。



5 | 救急診療/日当直

研修医の1年目では、内科、外科、産婦人科、小児科、精神科と整形外科等を回ります。そして、こうしたベースをもとに、2年目では救急科をローテーションします。もちろん、その間にも日当直で救急診療を経験します。そして、内科系・外科系当直医さらには救急科指導医の指導を受けながら診療に当たります。臨床研修では、病棟や外来と並び、救急診療や当直は重要なトレーニングアイテムになっています。ここでどれだけの診療経験と学習を重ねたか、それが研修の成否を決めると言っても過言ではありません。



6 | 臨床病理カンファレンス

魚沼基幹病院では、不幸にして亡くなられた患者さんについて、必要に応じて病理解剖をお願いしています。そして、その臨床経過と病理所見について整理を行い、診療を振り返り学ばせていただく「臨床病理カンファレンス」は、年2回実施しています。



7 | 学会・研究会発表

内科であれば内科信越地方会、それ以外の診療科では各専門科地方会などで、主に症例報告を行います。一つの症例を深く学ぶことにより、その疾患を完全にものにできたことが実感できます。



8 | 各種研修会・検討会

各診療科の医師やメディカルスタッフを講師として、院内で研修医向けのセミナー（「ICLS 研修」、「腹部エコー・ハンズオンセミナー」、「ギブス・シーネ講習など」）を定期的で開催しています。また当院では、魚沼圏域の医療機関から紹介のあった症例について、紹介元や地域の先生方を交えた症例検討会を定期的で開催しており、研修医も参加しディスカッションを行います。



07先輩メッセージ

先輩メッセージの詳細はWebサイトで。
<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/page5.html>



基幹型研修医

濱田 壮

出身地：福岡県

出身大学：新潟大学 (R5卒)

魚沼基幹病院に始めて来たのは5年生の夏でした。その時に救命救急センター長の山口先生に外傷のレクチャーをしていただいたのが心に残って、縁あって魚沼基幹病院で初期研修をすることになりました。はじめは違う科を志望していましたが、いろいろな科を回り様々な先生にご指導いただく中で、救急科に魅了され3年目からは救急科専攻医として新潟県内の病院で働くことになりました。魚沼基幹病院のいいところは、老若男女さまざまな症例が経験できること、ハイパーにもハイボにも好きなペースで働けること、手技は十分すぎるくらいに経験できること、指導医の先生方が非常に教

育熱心であることなど挙げればキリがないです。一方、すべての科が揃っているわけではないので血液内科や心臓血管外科などを志望する学生にとってやや不便な点もありますが、他病院へ行くこともできるので大きな問題点ではないと思います。また、上越新幹線の浦佐駅や関越道のインターが近くにあるので新潟市や東京へ出るのも困りません。さらに病院のすぐ横に無料の宿舎があります。通勤にかかる手間がかからないのはとても有り難かったです。魚沼基幹病院で初期研修を過ごせば実りある2年間になると思います。ぜひ、魚沼基幹病院に見学に来ていただければと思います。

当院での研修の魅力はすでに他の先生方も記載されている事と思いますが、

- 地域唯一の3次救急であり、1次から3次救急まで幅広い症例を経験できること
- 日直・当直業務では上級医の指導の下救急車・Walk in患者への診察から治療方針の決定まで主体的にかかわれること
- 内科では主治医として方針の決定から治療、退院の調整までの一通り流れを経験できること
- 新潟県の中でも多くの出産を取り扱う施設で、通常分娩からハイリスク妊娠の管理まで多くの症例を経験できること

以下は多くの人に当てはまる点ではないと思い

ますが、

- 院内保育があり当直中も子どもを預かってもらえること
- 近くに大きな保育園があり待機児童はないのでスムーズに入園できること
- 自然が多く温泉施設や大きな公園があり子どもをのびのび育てられること
- 地域研修が近隣で行えるため院内の保育施設を利用したまま地域研修へ行けること

自然が多くゆったりした時間の中、指導医の先生方も地域の方々もおおらかな人が多く研修には適した環境かと思いますので、ぜひ見学に来てみてください。



基幹型研修医

坂本 智美

出身地：神奈川県

出身大学：ハンガリー国立
デブレツェン大学 (R3卒)

見学医学生アンケート Q 魚沼基幹病院の印象をお聞かせください

【県外：女性】自分の出身が首都圏ということもあり、首都圏の病院を見学していたのですが、首都圏では病院の機能が細分化されている印象を受けました。しかし、魚沼基幹病院では幅広く症例を経験できる点がとても魅力的に感じました。

【県内：男性】自分のやりたい事に合わせて、自分のペースで経験を積める病院だと思います。

【県内：女性】研修医の先生がいきいきしており、研修医ので

きることが幅広く、また人それぞれのやりたいことに合わせて研修内容を組めるところに魅力を感じた。また人があたたかく、すれ違うスタッフさんがみなさん挨拶をしてくださり、とても明るい雰囲気を感じました。

【県外：男性】救急科では、集中治療を行っている様子や救急車で搬送されてきた患者様の対応を見学させていただき、幅広い症例が経験できそうだと感じました。



基幹型研修医

佐伯 邦道

出身地：埼玉県

出身大学：聖マリアンナ医科大学 (R5卒)

初期臨床研修では多くの先生、スタッフの方々大変お世話になりました。病院見学に来た日がつい最近のように感じますが、気づけば2年の月日が経っていました。様々な症例を経験する機会を頂き、至らぬ点多々ありましたが、多くの事を学ぶことが出来ました。同期に

も恵まれ、この病院で研修を行うという選択は私の人生では珍しく正しかったと感じています。新年度からは当院の総合診療専攻医プログラムに参加させていただきます。これからもよろしくお願いいたします。



基幹型研修医

逸見 華子

出身地：埼玉県

出身大学：新潟大学 (R5卒)



基幹型研修医

酒見 紀光

出身地：東京都

出身大学：北里大学 (R5卒)

神奈川県ほどの大きさのある魚沼圏域は、美味しいスイカが取れるほど夏は暑く、冬は背丈よりも雪が積もる豪雪地帯であり、非常に医療資源の乏しい地域でもあります。そんな魚沼で2年間過ごさせていただきました。その研修医生活で非常に多くの経験を積めたかと思います。内科で主治医として患者に向き合う経験、外科で執刀医として患者に向き合う経験、当直で患者の診療をしていく経験。その

どれも関東のみならず、新潟県内でも稀有で貴重な体験であったと考えています。自分は眼科医になりたいとこの病院に来る前から考えており、今後は専攻医として研修を積んで行きます。その際にも今回経験した数々の失敗と成功は非常に大切なものになると考えています。一つの病院で地域実習を除きほぼ研修を回りきり、様々な経験が詰める魚沼にぜひ見学に来てください。

総合診療科では、研修医の先生が担当の患者様を受け持っていられ、ご自身で方針をお考えになっていたため、非常に力がつきそうだと感じました。

【県内：男性】魚沼地域の地域医療について触れることができるのみならず、基幹病院として急性期の患者さんにも対応して学びを深めることができるのが、魚沼基幹病院の魅力であると感じました。地域医療の総合診療科などに従事しながら、三次医療や急性期医療の分野についても学べる病院はあまりないと思うのでぜひ将来働いてみたいと感じました。

【県内：男性】診療科が揃っていることや3次ということもあり、様々な疾患を見ることができ、経験を積むことが出来ると感じた。また、当直や日直の制度についても手厚さを感じた。

【県外：女性】地域の中核病院ということもあり、小児から成人、1次から3次まで幅広い症例を経験でき、研修医が主体的に診療に取り組める点が非常に魅力的だと感じた。

【県内：男性】一次医療から三次医療まで様々な症例の患者さんに対応することができ、医師としての研鑽を積むことができると感じた。

08 募集要項

募集要項の詳細はWebサイトで。
<http://resident.uonuma-kan-hospital.jp/page6.html>



募集要項

募集人員：1年次生 8名
募集方法：公募(日本医師臨床研修マッチングシステムに基づく)
選考方法：面接および書類選考
募集締切日：令和7年8月31日 ※選考は希望者の相談に応じて随時実施します。
申込方法：まずは下記申込先へご連絡ください。当院指定申込書を郵送又は持参のこと。
(申込書はホームページからダウンロードできます)
申込先：魚沼基幹病院 事務部総務課臨床研修担当
TEL.025-777-3200 FAX.025-777-2811 E-Mail ukb-kenshu@ncmi.or.jp

研修医の待遇

身分：常勤医師として雇用(臨床研修医)
給与：[1年次]
基本給:360,000円
時間外勤務手当168,000円程度(当直2回/月、日直2回/月を含む)
月額 計:528,000円程度 ※上記以外に、各種手当あり
[2年次]
基本給:390,000円
時間外勤務手当182,000円程度(当直2回/月、日直2回/月を含む)
月額 計:572,000円程度 ※上記以外に、各種手当あり
勤務時間及び休暇：8:30～17:30(休憩時間12:00～13:00)
年次有給休暇(1年次:10日、2年次:11日+繰越分)
夏季休暇(有給、5日/年)
※上記以外に、忌引休暇、私傷病休暇等各種休暇あり
時間外勤務及び当直：あり(当直は研修計画Iの12参照。)
社会保険・労働保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、労働者災害補償保険適用あり
健康管理：定期健康診断年1回、そのほか勤務実態に応じて夜勤者健診等あり
医師賠償責任保険：病院加入有り、個人加入任意
外部研修活動への補助：学会・研究会等に係る参加費、旅費補助あり
研修プログラムに定められていない病院等での診療の可否：不可
(一般財団法人新潟県地域医療推進機構職員就業規則による)

その他

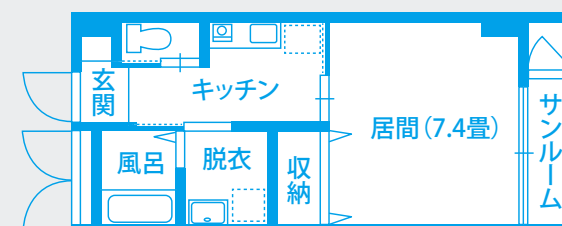
- 院内に研修医専用の居室あり(持ち込みPC等によるインターネット利用可)、図書室あり
- 平日毎朝開催している救急・総合診療合同検討会に原則参加
- 各診療科においても専門検討会を定期的に開催
- 臨床研修管理委員会を、年2回以上開催します。また、必要に応じてプログラム運営管理小委員会を開催し、研修医の到達状況を把握しフォローします。
- 研修期間中のアルバイトは禁止しています。



研修医専用の居室

宿 舎

病院隣接地の研修医宿舎(1K又はDK。単身用30戸/家具付き)を使用可能(Wi-Fi完備)。
使用料：居室/無料
駐車場：月額5,000円



SNAPSHOT



09 地域情報

新潟には四季折々の名所がたくさん！



浦佐周辺のオススメスポット



近くに大きな公園



病院からも近い「八色の森公園」は、越後三山(八海山、駒ヶ岳、中の岳)を望む絶景です。

おいしいお店！



ワインレストラン「葡萄の花」
おいしいワインと地元で獲れた新鮮な食材を使ったメニューで人気です。

登山・トレッキング



アウトドアファンに最適！

スキー・スノーボード



色々なスキー場で楽しめる！

温泉



魚沼は温泉天国！

地域交流



魚沼基幹病院は、積極的に地域活動やお祭りに参加しています。

冬の浦佐



美しい雪景色

2007年8月に20年ぶりに新設された29番目の国立公園「尾瀬」は、日帰りコースも充実しています。また、越後三山と称される越後駒ヶ岳・八海山・中ノ岳をはじめ、日本百名山に数えられる平ヶ岳、巻機山、谷川岳、苗場山など、山登りが好きな人には制覇したい山々が近くにあります。



尾瀬沼でトレッキング！

みんなでスキー・スノボ



魚沼エリアは、年間約350万人のスキー・スノボを楽しむ人たちが集まる一大スキーリゾートエリア。南魚沼地域に22、魚沼地域に6か所のスキー場が点在しています。魚沼基幹病院では、周辺スキー場の1日リフト券が無料・割引になる福利厚生制度を用意しています。

みんなで食事会

魚沼エリアは、年間50万人以上の宿泊客が訪れる越後湯沢温泉をはじめ、六日町温泉郷、湯之谷温泉郷のほか、「日本秘湯を守る会」に登録されている貝掛温泉や栃尾又温泉など、個性豊かな温泉があります。日帰り温泉もたくさんあるので、休日の温泉巡りも楽しみです。



◀「裸押し合い大祭」に参加、応援団も入れると50名以上が参加します。地元浦佐の一員としてがんばります！



▶ 南魚沼の一大イベントとしてすっかり定着したグルメマラソンにおよそ60名が参加し、総勢5,000名超のランナーと走ります。



浦佐は豪雪地域です。一晩で1mも雪が降ることもあります。除雪対策がしっかりしているから道路の雪で動けなくなることはありません。もちろん高速道路も除雪が早いので、安心して暮らせます。歩道も除雪するので人が歩くのも安心です。

